

壮大なシリーズの最後を飾る大輪の打ち上げ花火！熱狂のラスト・ナイト、お聴き逃しなく！

短いフレーズを変化させながら繰り返し繰り返し演奏するミニマル・ミュージック、その代表的な作曲家のフィリップ・グラスによるヴァイオリン協奏曲第1番。

神秘的な雰囲気や纏う曲想にこれでもかと気の遠くなるほど繰り返されるフレーズはまさにトランス状態。

まるで霧の立ち込める深い森にトリップしたような…

そして、5夜にわたる壮大な“熱狂の夜”、ラストを飾るのは、ジャズ界の巨匠、ウィントン・マルサリスのヴァイオリン協奏曲。

ニコラ・ベネデッティの独奏&ロンドン響によって2015年に世界初演されたこの曲は、2020年に石田、川瀬&神奈川フィルによって相模女子大グリーンホールにて日本初演されました。

驚異的で圧倒的な熱演でしたがコロナ禍による入場制限などの影響を受け、是非近いうちに再演を！の機運が高まっていました。

「熱狂の夜」シリーズを企画するにあたり石田氏よりコンチェルト

は川瀬氏と是非この曲で！との強い希望により日本で2回目の演奏が実現、あの感動が再び甦ります！

曲は「ラブソディ」「ロンド・ブルスケ」「ブルース」「フーテナニー」の4つの楽章からなる40分を超える大曲。マルサリスらしいジャズやケルト音楽の要素がふんだんに盛り込まれ、クラシックにとらわれないソロヴァイオリンの超絶技巧や哀愁の旋律が堪能できます。特に最終楽章の「フーテナニー (hootenanny)」は「観客参加のコンサート」を意味し、思わず体を動かしたくなるリズムミミックなヴァイオリンとオーケストラの手拍子・足拍子など、客席全体を含めて大いに盛り上げる、まさに“熱狂の夜”のフィナーレにふさわしい作品です！

さあ！ 規模的にも技術的にもめったに演奏されることのないマルサリスのヴァイオリン協奏曲でのラスト・ナイト、今まで体験したことのない熱狂を今宵。是非お聴き逃しなく！



石田泰尚スペシャル

【第1夜：無伴奏】

《シャコンヌ》

ゲスト：山本裕康(チェロ)

2022 5月10日(火)

【第2夜：デュオ】

《フランク：ソナタ》

共演：外山啓介(ピアノ)

6月10日(金)

【第3夜：カルテット】

《アメリカ》

YAMATO String Quartet

7月4日(月)

【第4夜：アンサンブル】

《四季》

石田組

8月19日(金)

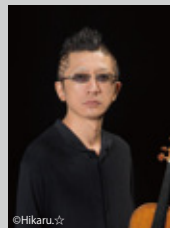
【第5夜：コンチェルト】

《グラス&マルサリス》

川瀬賢太郎指揮/神奈川フィル

9月6日(火)

石田 泰尚 (ヴァイオリン) Yasunao Ishida, violin



神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。

新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。

これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル“石田組”など、様々なユニットでも独特の輝きを見せる。録音も多く石田組デビューアルバム“THE 石田組”、ソロライブアルバム第3弾となる“Mozart Live”はレコード芸術誌上で特選盤の評価を得た。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの模様は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。

川瀬 賢太郎 (指揮) Kentaro Kawase, conductor



2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。指揮を広上淳一氏等に師事。06年東京国際音楽コンクール<指揮>において1位なしの2位(最高位)に入賞。神奈川フィル常任指揮者(2022年3月まで)、名古屋フィル正指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・ゲストコンダクター、札幌正指揮者。三重県いなべ市親善大使。

第64回神奈川文化賞未来賞、16年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回「出光音楽賞」、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 Kanagawa Philharmonic Orchestra

地域に密着した音楽文化の創造をミッションとして、神奈川県全域を中心に全国各地で幅広い活動を続けている。横浜・川崎を中心とした定期演奏会、県内各地を回る巡回公演などの主催公演を開催。音楽教育にも積極的で、小中学校での音楽鑑賞教室を全国各地で開催し、広い世代に音楽の魅力を伝え、また医療機関や特別支援学校への出張演奏も積極的に行っている。2020年には創立50周年を迎えた。

指揮者陣は、音楽監督に沼尻竜典、名誉指揮者に現田茂夫、特別客演指揮者に小泉和裕を擁している。

ホームページ <https://www.kanaphil.or.jp> Twitter @kanagawaphil

©藤本史昭